

校内合唱コンクールの実施方針及び新型コロナウイルス感染防止対策

宜野湾中学校

1 実施に向けた方針及び経緯

- (1) 新型コロナウイルス感染防止対策のため、今年度はほとんどの学校行事が実施できていないこと、合唱については授業で取り組んでいることを踏まえ、各新型コロナウイルス感染症に関するガイドラインをクリアする形で実施できないか検討する方針を決定。
- (2) 宜野湾市内の施設の中で「沖縄県主催イベント等実施ガイドライン」をクリアできる施設として、コンベンションセンターが可能であることを確認。
- (3) 校内合唱コンクールの実施が、コンベンションセンターの「施設使用許可条件」に適合するか当センターと事前調整を実施。
- (4) 感染防止対策も含め許可が下りたため当センターでの実施を決定。
- (5) 当センターは、施設としてのコロナウイルス感染防止対策として、独自のガイドラインを作成し、従業員のコロナ対策、施設・設備・物品等の消毒対策、換気等の徹底を実施していることも確認。

2 ガイドラインの主なポイント

- (1) 沖縄県主催イベント等実施ガイドラインの主なポイント
 - ① 参加人数が収容人数の半分程度以内であること。(屋内イベント)
 - コンベンションセンター収容人員 1800名
 - 本校参加生徒数：620名程度、職員数：45名程度
 - ② 自宅での健康チェックを行い、当日「健康状態申告書の提出」をさせること。
 - ③ 施設として感染防止環境の徹底整備を行うこと。
- (2) コンベンションセンターコロナ感染防止ガイドライン主な施設としての対策
 - ① 従業員の対策
 - 出勤前の検温、咳エチケット、こまめな手洗い、指手消毒、マスクの着用、常に洗濯された衣類の着用を実施。
 - ② 施設・設備・物品等の消毒対策
 - 不特定多数の者が接触する高頻度接触部位は適宜、清掃・消毒を実施。
 - 会場は使用毎に、消毒作業を実施。特にテーブル、椅子、音響等の高頻度接触部位は注意を払って実施。
 - 消毒は、次亜塩素酸水消毒液、消毒用エタノール等を用いて実施。
 - ③ 施設の換気対策
 - 空調機器による施設全体の換気を実施。

3 学校の新型コロナウイルス感染防止対策

- (1) 実施の条件
 - ① 県及び国の緊急事態宣言が出ていないこと。
 - ② 感染防止対策が守れない場合は実施しない。
- (2) 感染防止対策
 - ① 発熱、風症状のある生徒、家族に発熱者がいる生徒は参加できません。
 - ② 普段から使用している健康観察シートで健康状態をチェックします。
 - ③ 検温していない場合は、非接触型体温計で検温します。
 - ④ 熱がある生徒は、会場には入れず帰宅させます。
 - ⑤ 座席は、前後左右を空けて着席させます。
 - ⑥ 座席の最前列は舞台から十分な距離を取ります。
 - ⑦ 消毒用アルコール、石けん等による手指消毒を実施します。
 - ⑧ 次亜塩素酸ナトリウムによる座席やノブ等の消毒を実施します。
 - ⑨ 合唱時以外はマスク着用を徹底します。
 - ⑩ 空調機器は、常に換気される状態で稼働させます。
 - ⑪ トイレは密をさけるため一斉休憩は置かず、発表と発表の合間に許可します。
 - ⑫ 合唱時は、左右の間隔を空けるとともに、前後が重ならない立ち位置で実施します。